

2024年9月13日

関電不動産開発株式会社

豪州ビクトリア州ターネイトにおける宅地開発事業への参画について

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：福本恵美）は、今般、豪州において、現地法人 Kanden Realty & Development Australia Pty Ltd（以下、KRD Australia）を通じて、新たな宅地開発事業に参画することとなりましたので、お知らせいたします。

参画する案件は、豪州ビクトリア州を中心に不動産開発を行う Kin Developments（本社：メルボルン、CEO：Tony Hewson、以下、Kin 社）がメルボルン近郊ターネイトで開発を行う宅地開発事業（以下、本プロジェクト）です。

記

■参画の背景及びプロジェクトの特徴

当社は、現地優良パートナーである Kin 社が主導するメルボルン近郊の本プロジェクトへの参画を決定いたしました。豪州での宅地開発プロジェクトは、ラウズ・ヒル・ハイツ（ニューサウスウェールズ州）、オーチャードヒルズ（ニューサウスウェールズ州）、レップントン（ニューサウスウェールズ州）に続き 4 件目であり、当社としてビクトリア州で初めての宅地開発事業となります。

本プロジェクトは、メルボルン西部の「ターネイト」エリアにおいて、宅地開発・分譲を行う計画で、総区画数 170 区画、総面積約 8.1ha の宅地開発事業です。

ターネイトはメルボルン西部の成長著しいエリアであり、2015 年の近隣での鉄道開通以降は特に生活利便性が向上し、著しい人口増加を遂げています。人口増加と旺盛な住宅需要から新規開発プロジェクトも多く、学校やスーパーマーケット等の生活利便施設も併せて開発が進んでいることから、都市の成熟度が日に日に向上しているものと捉えています。また、パークアンドライド※を活用すれば、計画地から約 40 分程でメルボルン中心部まで通うことができ、今後もメルボルン郊外の主要住宅エリアとしての発展に期待を寄せています。

※自宅から最寄駅等（本プロジェクトの場合、ターネイト駅）まで自動車等で移動し、最寄駅等から目的地まで鉄道等の公共交通機関で移動すること。

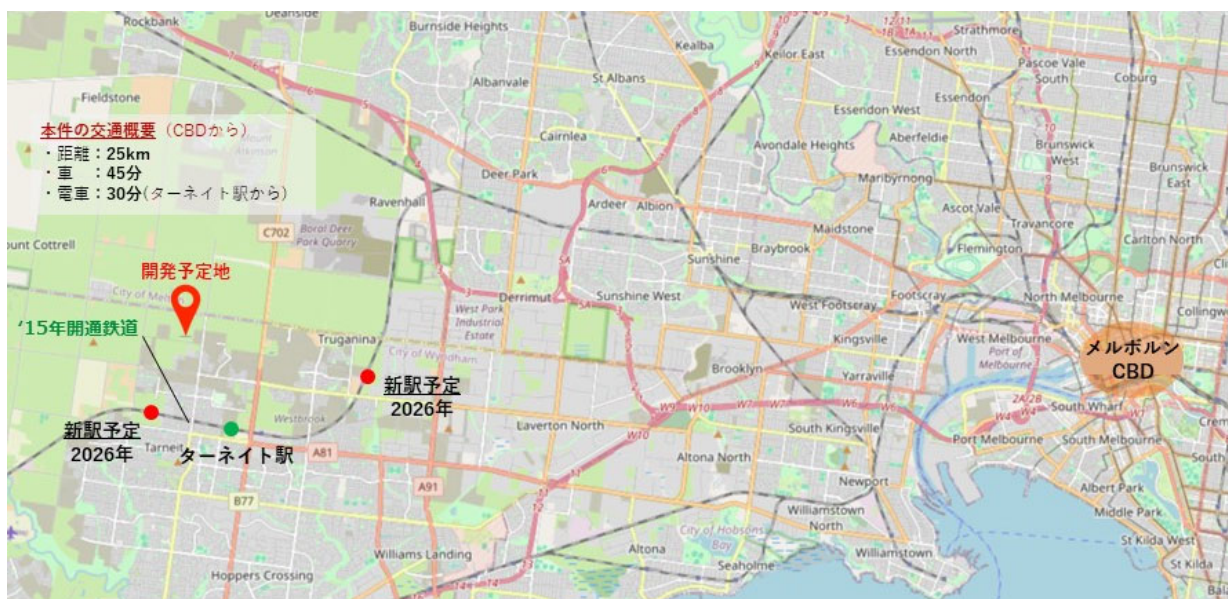
■今後の豪州における展開

当社は、海外不動産事業全体における豪州の投資割合を現状の約2割から3割以上に引き上げるべく、今後豪州における投資を一層拡大していく方針です。2022年から、現地企業に出向社員を1名派遣するなどしノウハウ蓄積をはかってまいりましたが、2024年中を目途に、投資用ビークルとして設立したKRD Australiaを有人化することも検討しており、豪州においてより盤石な事業体制を整備していく方針です。

当社は今後、本プロジェクトへの参画を通じて、豪州における不動産事業に関する知見をより一層拡充していくとともに、宅地開発事業のみならず、集合住宅開発事業、オフィス・物流施設等の開発や運営事業への投資も検討してまいります。またビクトリア州以外の州においても更なる事業参画の機会を探求し、豪州における更なる収益拡大を目指します。

■物件概要

- 所在地 : 90&100 Kenning Road, Tarneit, VIC, Australia
総区画数 : 170 区画 (敷地面積 : 約 8.1 ha)
スケジュール : 着工/ 2025 年 1 月 予定
竣工・引渡/ 2025 年 10 月～2026 年 9 月 (段階的に引渡)



© OpenStreetMap contributors

■Kin 社について

本プロジェクトを主導する Kin 社はメルボルン都市圏を中心に宅地開発を行う不動産開発会社です。CEO の Tony 氏は 26 年以上に渡り不動産開発会社や政府組織等で住宅業界に関与してきた経験から Kin 社を設立し、今後ターネイトエリアで複数案件に着手していく予定です。

Kin (家族・親類) という言葉に表されるように、そこに住む家族の満足を生み出す良質な住環境の創出を心掛けている会社です。

商号 : Kin Developments (Kin Greenfields One Pty Ltd)

代表者 : Tony Hewson

設立 : 2024 年 1 月

■本ニュースリリース配付先

大阪建設記者クラブ、国土交通記者会

以 上